

任ニ在ルコト三十年精勵恪勤力ヲ憲政ノ
濟美ニ效セリ貴族院ハ君カ積年ノ功勞ヲ
憶ヒ茲ニ院議ヲ以テ之ヲ表彰ス

正四位勳二等功四級福永吉之助君貴族院議員ノ任ニ在ルコト三十年精勤恪勤力ヲ憲政ノ濟美ニ效セリ貴族院ハ君カ積年ノ功勞ヲ憶ヒ茲ニ院議ヲ以テ之ヲ表彰ス

正四位勳二等倉知鐵吉君貴族院議員ノ任ニ在ルコト三十年精勤恪勤力ヲ憲政ノ濟美ニ效セリ貴族院ハ君カ積年ノ功勞ヲ憶ヒ茲ニ院議ヲ以テ之ヲ表彰ス
只今朗讀致シマシタ各表彰文案案ニ、御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平頼宗君) 御異議ナイト認
メマス、表彰文ノ喻呈方ハ議長ニ於テ取計
ラヒマス、此ノ際水野鍊太郎君ヨリ發言ヲ
求メラレテ居リマス、水野君ノ御登壇ヲ願
ヒマス

〔水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕
○水野鍊太郎君
只今私共四名ガ、院議ヲ以チマシテ永年勤續ノ廉ヲ以テ御懲篤ナル表彰ヲ戴キマシタコトハ、誠ニ身ニ餘る光榮デアリマスト同時ニ、恐縮ニ堪ヘナイノデアリマス、私共ハ、本院ニ議席ヲ汚シマスマス、然ルニモ拘ヘリマゼズ、本日表彰ノ十年ノ歳月ヲ送ツタノニ過ぎナインデアリ

光榮ニ浴シマシタコトハ、是レ偏ニ先輩同僚各位ノ御懇篤ナル御指導ト御援助ノ賜ト存ジマシテ、深キ感謝ノ心持ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、今ヤ時局ハ實ニ重大デアリマス、私共ハ今後益々國家ノ爲ニ奉公ノ誠ヲ致シ、憲政ノ爲ニ努力致シタイト云フコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、茲ニ只今ノ御決議ニ對シマシテ、僭越ナガラ表彰者一同ニ代リマシテ深甚ナル謝意ヲ表スル次第デアリマス(拍手)

○議長(伯爵松平頼壽君) 議事日程=移リ
マス、日程第一、農業團體法案、日程第一、
水産業團體法案、政府提出、衆議院送付、
第一讀會、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲
スコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、井野農林大臣

〔左ノ案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ
タメ茲ニ載錄ス以下之ニ敬フ〕

農業團體法案
貴族院議長 岡田 忠彦

第一章 總則

第一條 農業團體ハ市町村農業會、道府縣農業會、全國農業經濟會及中央農業會トス

第三條 農業團體ハ行政官廳之ヲ監督ス 第四條 農業團體ハ農業ニ關スル事項ニ

付行政廳ニ建議スルコトヲ得
農業團體ハ行政廳ノ諮詢ニ對シ答申ス

第五條 行政官廳ハ農業團體ニ對シ農業 ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル

第六條 農業團體ハ勅令ノ定ムル所ニ依
事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七條 本法ニ規定スルモノノ外農業博
抗スルコトヲ得ズ

體ノ設立、管理、解散、清算其ノ他農業團體ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム。

テ之ニ定ム

務及之ニ附隨スル業務ヲ謂フ

必要ナル事項ニ關シテハ敕令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第二章 吉田村農業會及道府縣農業會

第十條 市町村農業會及道府縣農業會（以下地方農業會ト稱ス）ハ農業ニ關スル國策ニ即應シ農業ノ整備發達ヲ圖リ

且會員ノ農業及經濟ノ發達ニ必要ナル事業ヲ行フコ、ノ目内、ス

事業ヲ行フニ目的ヲ達ス
第十一條 地方農業會ハ其ノ目的ヲ達ス
ル爲左ノ事業ヲ行フ

一 農業ノ指導獎勵其ノ他農業ノ發達 ニ關スル施設

二 農業ノ統制ニ關スル施設

三 會員ノ販賣スル物ノ賣却又ハ其ノ
加工ニ關スル施設

四 會員ニ必要ナル農業用物資ノ購買
又ハ其ノ加工若ハ生産ニ關スル施設

五 會員ニ必要ナル農業資金ノ貸付又
ハ農業用設備ノ利用ニ關スル施設

六 會員ノ貯金ノ受入ニ關スル施設

地方農業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲前項
ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フコトヲ得

一 會員ニ必要ナル物ノ購買又ハ其ノ
加工若ハ生産ニ關スル施設

二 會員ニ必要ナル資金ノ貸付又ハ設
備ノ利用ニ關スル施設

三 農業ニ關スル調査及研究

四 農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關
スル施設

五 前項又ハ前各號ノ事業ニ附帶スル
事業

地方農業會前項第四號又ハ第五號ノ事
業ヲ行ハントストキハ行政官廳ノ認
可ヲ受クベシ地方農業會ノ施設ハ命令
ノ定ムル所ニ依リ會員以外ノ者ヲシテ
之ヲ利用セシムルコトヲ得道府縣農業
會ハ命令ヲ以テ定ムル金融機關ニ對シ
會員ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲シ又ハ當該
金融機關ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立
ヲ爲スコトヲ得

道府縣農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ
會員ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第十二條 地方農業會ノ地區ハ市町村農
業會ニ在リテハ市町村（町村ニ準ズベ
キモノヲ含ム以下同ジ）道府縣農業會

ニ在リテハ道府縣ノ區域ニ依ル
特別ノ事由アルトキハ市町村農業會ノ
地區ハ市町村ノ區域ニ依ラザルコトヲ
得

第十三條 地方農業會ハ其ノ名稱中ニ
市、町若ハ村農業會又ハ道、府若ハ縣
農業會ナル文字ヲ用フベシ但シ前條第
二項ノ場合ニ於テハ市町村農業會ハ其
ノ名稱中ニ市、町又ハ村ナル文字ヲ用
ヒザルコトヲ得
地方農業會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中
ニ前項ニ掲タル文字ヲ用フルコトヲ得

第十四條 市町村農業會ハ左ニ掲タル者
ヲ以テ其ノ會員トス但シ國、公共團體
及勅令ヲ以テ定ムル者ニ付テハ此ノ限
ニ在ラズ

一 其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者
二 其ノ地區内ノ耕地 牧野又ハ原野
ヲ所有スル者

三 前二號ノ者ニ準ズル者ニシテ勅令
ヲ以テ定ムルモノ

道府縣農業會ハ其ノ地區内ノ市町村農
業會ヲ以テ其ノ會員トス

第十五條 左ニ掲タル者ハ市町村農業會
ノ會員ト爲ルコトヲ得但シ其ノ者ガ法
人ナルトキハ命令ヲ以テ定ムル法人ニ
シテ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルモノニ
限ル

一 其ノ地區内ニ住所ヲ有スル者ニシ
テ農業ニ密接ナル關係ヲ有スルモノ
二 其ノ他命令ヲ以テ定ムル者
道府縣農業會ノ地區内ニ住所ヲ有スル
法人ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノハ行

政官廳ノ認可ヲ受ケ當該道府縣農業會
ノ會員ト爲ルコトヲ得

第十六條 地方農業會ヲ設立セントスル
トキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第十四條
ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者
ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會

ヲ開キ會則其ノ他設立ニ必要ナル事項
ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十七條 地方農業會ハ主タル事務所ノ
所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スニ因リ
テ成立ス

第十八條 地方農業會成立シタルトキハ
第十四條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ
有スル者ハ總テ其ノ會員トス

第十九條 會則ニハ左ノ事項ヲ記載スル
コトヲ要ス
一 目的及事業
二 名稱
三 地區
四 事務所ノ所在地
五 出資又ハ費用分擔ノ方法
六 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

第二十條 地方農業會ニ總會ヲ置ク
會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有
ス但シ會則ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコト
ヲ得

第二十一條 左ノ事項ハ總會ノ議決ヲ經
ベシ
一 會則ノ變更
二 賦課金ノ賦課徵收方法
三 事業報告書、財產目錄及貸借對照
表ノ承認
四 剩餘金ノ處分又ハ損失ノ處理
五 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

前項第一號及第二號ノ事項ノ決議ハ行
政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ
效力ヲ生ゼズ

第二十二條 總會ハ會長之ヲ招集ス
第二十三條 總會ハ會長ハ會長ヲ以テ之
ニ充ツ

第二十四條 總會ノ議事ハ命令ニ別段ノ
規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ議決
權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナ
ルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十五條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニ
シテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ
暇ナシト認ムルモノハ會長之ヲ專決處
分スルコトヲ得

第二十六條 地方農業會ハ命令ノ定ム
所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設ク
ルコトヲ得

第二十七條 地方農業會ニ左ノ役員ヲ置
ク
會長 一人
副會長 一人又ハ若干人
理事 若干人
監事 若干人

第二十八條 會長ハ地方農業會ヲ代表シ
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會則ノ定ムル所
ニ依リ業務ヲ掌理シ豫メ會長ノ定ムル
順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務
ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務

ヲ行フ
理事ハ會長及副會長ノ指揮ヲ受ケ業務
ヲ執行シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ
會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長
ノ職務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員
ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

第二十九條 會長ハ總會ニ於テ推薦シタ
ル者ニ就キ市町村農業會ニ在リテハ市
町村長(町村長ニ準ズベキモノヲ含ム)
ノ意見ヲ徵シ地方長官、道府縣農業會
ニ在リテハ地方長官ノ推薦ニ依リ主務
大臣之ヲ命ず

副會長及理事(支部長タル道府縣農業
會ノ理事ヲ除ク)ハ總會ニ於テ推薦シ
タル者ニ就キ會長之ヲ選任ス

支部長タル道府縣農業會ノ理事ハ支
部區域内ノ市町村農業會ノ會長ヲ以テ組
織スル會議ニ於テ推薦シタル者ニ就キ
會長之ヲ選任ス

監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス
評議員ハ農業ニ關シ學識經驗アル者ノ
中ヨリ會長之ヲ選任ス

道府縣農業會ノ副會長及理事ノ選任ハ
地長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其
ノ效力ヲ生ゼズ

第三十條 地方農業會ノ役員ノ任期ハ左
ノ通トス
副會長 三年
理事 三年
監事 二年

第二十八條 會長ハ地方農業會ヲ代表シ
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會則ノ定ムル所
ニ依リ業務ヲ掌理シ豫メ會長ノ定ムル
順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務
ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務

會長 三年
副會長 三年
理事 三年
監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副會長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得監事ハ任期中ト雖モ總會ニ於テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依ル副會長又ハ理事ノ解任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十一條 地方農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル經費賦課ハ第十一條第一項第一號、第二號及同條第二項第一項第一號、第二號ノ事業ニ關係アル範圍内ニ於ケル同項第五號ノ

三號、第四號ノ事業並ニ此等ノ事業ニ關係アル範圍内ニ於ケル同項第五號ノ

事業ニ關シ勅令ヲ以テ定ムル經費ニ限ル前項ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

市町村農業會ノ賦課金ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

市町村農業會ノ賦課金ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

市町村農業會ノ賦課金ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第三十一條第二項ノ事業ニ關シテ前項ノ使用料及手數料ノ徵收スルコトヲ得

第三十二條 地方農業會ハ前條第二項ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ同條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第三十三條 地方農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會則又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十四條 市町村農業會ノ賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ當該市町村農業會ノ請求アルトキハ市町ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此

ノ場合ニ於テ市町村農業會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スペシ市町村ガ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ着手セズ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザルトキハ會長ハ地方法長官ノ認可ヲ受ケテ之ヲ處分ス此

ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第第三十九條 地方農業會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ノ議決ヲ經テ農業ノ統制

百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

市町村農業會ノ賦課金ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

ニ關スル規程ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更シ又ハ廢止セントスルトキ亦同ジ

第四十條 行政官廳農業ノ整備發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ地方農業會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ會則ノ變更其ノ他必要ナル事業項ヲ命ズルコトヲ得

第四十一條 行政官廳農業ノ整備發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ市町村農業會ノ會員ニ對シ當該農業會ノ行フシ使用料及手數料ノ徵收スルコトヲ得

第四十二條 行政官廳農業ノ整備發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ定ムル農業ニ關スル團體ニ對シ市町村農業會ノ事業ニ付協力スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第四十三條 行政官廳ハ地方農業會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ當該官吏ニシテ地方農業會ノ事務所、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ検査シムルコトヲ得

第四十五條 會長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ會員其ノ他適當ナル者ヲ指定シテ會長ノ職務ヲ行ハシムルコト

トヲ得
第四十六條 行政官廳ハ會長ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキ其ノ他農業ノ整備發達上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

行政官廳ハ副會長、理事、監事又ハ評議員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

行政官廳ハ副會長、理事、監事ノ處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

行政官廳ハ副會長、理事若ハ監事ノ處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

ラズ

第七十條 第四十四條(第五十七條及第六十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)

ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨げ又ハ忌避シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十一條 農業團體ノ會長、理事長、副會長、理事、監事、清算人若ハ使用人又ハ第四十五條(第五十七條及第六十

六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム以下同ジ)ノ規定ニ依ル會長若ハ理事長ノ職務ヲ行フ者其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シ若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行為ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第七十二條 前條第一項ノ者ニ對シ賄賂ヲ交付シ又ハ之ヲ提供シ若ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下の罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕シ又ハ免除スルコトヲ得

第七十三條 農業團體本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ會長、會長若ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副會長若ハ理事、清算人又ハ第四十五條ノ規定ニ依ル會長若ハ理事長ノ職務ヲ行フ者ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス

第七十四條 全國農業經濟會ノ理事長若

八理事又ハ中央農業會ノ會長、副會長若ハ理事第五十六條(第六十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ違反シ他ノ職務又ハ商業ニ從事シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第七十五條 第十三條第二項、第五十二條第二項又ハ第六十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第七十六條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第九十九條ノ規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七十七條 主務大臣ハ設立委員ヲ命ジセシム

第七十八條 主務大臣前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ帝國農會、產業組合中央農業會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第七十九條 設立委員ハ遲滯ナク保證責任全國購買販賣組合聯合會ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ノ招集シ其ノ議決ヲ經テ會則、保證責任全國購買販賣組合聯合會ノ出資ニ對

第八十條 設立委員ハ遲滯ナク保證責任全國購買販賣組合聯合會ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ノ議決ヲ經テ會則、產業組合聯合會ヲ設立スル場合ニ在リテハ同條後段ノ認可ヲ受クベシ

第八十一條 中央農業會成立シタルトキハ保證責任全國購買販賣組合聯合會ヲ組織スル者ハ第五十三條ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ總テ其ノ會員トス

第八十二條 主務大臣ハ設立委員ヲ命ジ

第八十三條 全國農業經濟會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第八十四條 設立委員ハ遲滯ナク保證責任全國購買販賣組合聯合會ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ノ議決ヲ經テ會則、產業組合聯合會ヲ設立スル場合ニ在リテハ同條後段ノ認可ヲ受クベシ

第八十五條 全國農業經濟會成立シタルトキハ保證責任全國購買販賣組合聯合會ヲ組織スル者ハ第五十三條ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ總テ其ノ會員トス

第八十六條 第七十八條第二項及第八十

第八十七條 行政官廳地方農業會ヲ設立スル爲必要アリト認ムルトキハ設立委員ヲ命ジ地方農業會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第八十八條 行政官廳前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ道府縣農業會ヲ設立スル場合ニ在リテハ第八十八條前

第八十九條 設立委員ハ遲滯ナク前條第一項ノ法人ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ヲ招集シ之ニ諸清算ニ關スル規定ハ之ヲ其ノ法人ニ適用セズ

第九十条 地方農業會成立シタルトキハ道府縣農業會ニ在リテハ第八十八條前段ニ規定スル法人ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ、市町村農業會ニ在リテハ同條後段ニ規定スル法人ヲ

第九十一条 第七十八條第二項及第八十

第九十二条 行政官廳地方農業會ヲ設立スル爲必要アリト認ムルトキハ設立委員ヲ命ジタルトキハ道府縣農業會ヲ設立スル場合ニ在リテハ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外郡又ハ道府縣

ノ區域ヲ地區又ハ區域トスル農會、茶葉組合、茶業組合聯合會議所、畜產組合、畜產組合聯合會、產業組合聯合會、養蠶業組合聯合會其ノ他の勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外市町村ノ區域ヲ地區又ハ區域トスル農會、產業組合、養蠶業組合聯合會其ノ他の勅令ヲ以テ定ムル法人ニ對シ、市町村農業會ヲ設立スル場合ニ在リテハ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外市町村ノ區域ヲ地區又ハ區域トスル農會、產業組合聯合會其ノ他の勅令ヲ以テ定ムル法人ニ對シ其ノ解散處理セシム

第八十三條 主務大臣前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ保證責任全中國購買販賣組合聯合會ニ對シ其ノ解散ヲ命ズ

第八十四条 設立委員ハ遲滯ナク保證責任全國購買販賣組合聯合會ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ノ議決ヲ經テ會則、保證責任全國購買販賣組合聯合會ノ出資ニ對スル全國農業經濟會ノ出資ノ引當其ノ他設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ヲ招集シ其ノ認可ヲ受クベシ

第八十五条 全國農業經濟會成立シタルトキハ保證責任全國購買販賣組合聯合會ヲ組織スル者ハ第五十三條ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ總テ其ノ會員トス

第八十六条 第七十八條第二項及第八十

第八十七条 行政官廳地方農業會ヲ設立スル爲必要アリト認ムルトキハ設立委員ヲ命ジ地方農業會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第八十八条 行政官廳前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ道府縣農業會ヲ設立スル場合ニ在リテハ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外郡又ハ道府縣

スル爲必要アリト認ムルトキハ農會、畜產組合、畜產組合聯合會其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ニ對シ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ分割ヲ命ズルコトヲ得

第九十三條 第七十七條乃至前條ニ規定スルモノノ外農業團體ノ設立竝ニ第十八條第一項、第八十三條及第八十八條ノ法人(以下受命法人ト稱ス)ノ解散ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十四條 第七十七條乃至前條ノ規定ニ依リ農業團體成立シタル場合ニ於テ其ノ農業團體ニ權利義務ヲ承繼セラレタル受命法人ヲ組織スル者ト當該農業團體トノ間又ハ當該受命法人ノ所屬シタル法人ト當該農業團體トノ間ノ所屬シタルノ關係ニ付テハ本法及他ノ法令ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲ストヲ得

第九十五條 受命法人ノ行フ第十一條第二項第四號、第五號、第五十條第一項第四號又ハ第五十九條第一項第四號、第五號ニ掲タル事業ヲ第七十八條第二項(第八十六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ當該受命法人ノ權利義務ヲ承繼シタル農業團體が引續キ行フ場合ニ於テハ當該農業團體ハ當該事業ニ關シ第十一條第三項、第五十條第二項又ハ第五十九條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第九十六條 第十三條、第五十二條又ハ第六十條ノ規定施行ノ際現ニ第十三條第一項、第五十二條第一項又ハ第六十

條第一項ニ掲タル名稱ヲ其ノ名稱中ニ

用フル者ハ此等ノ規定施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第七十五條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ同項ノ者ニ適用セズ

第九十七條 農業團體第七十八條第一項(第八十六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ受命法人ヨリ不動産又ハ船舶ニ關スル權利ヲ承繼スル場合ニ於ケル其ノ取得ニ付登記ヲ受クルトキハ其ノ登録税ノ額ハ不動産又ハ船舶ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登録税法ニ依リ算出シタル登録税少キトキハ其ノ額ニ依ル

第九十八條 全國農業經濟會又ハ地方農業會ガ第八十六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル第七十八條第二項ノ規定ニ依リ農業組合聯合會又ハ農業組合ノ權利義務ヲ承繼スル場合ニ於テハ特別法人稅法ノ適用ニ關シテハ農業組合聯合會又ハ農業組合ハ之ヲ合併ニ因リテ消滅シタル特別ノ法人ト看做シ全國農業經濟會又ハ地方農業會ハ之ヲ合併ニ因リテ設立シタル特別ノ法人ト看做ス

第五條第六號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會」ヲ、「同條第九號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

除クノ外其ノ任期満了シタルトキト雖毛第七十八條第一項(第八十六條又ハ第十九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル當該法人ノ解散ニ至ル迄同項ノ者ニ適用セズ

第一百條 左ニ掲タル法令ハ之ヲ廢止ス

一 農會法

二 茶業組合規則

前項ノ法令廢止前當該法令ノ罰則ヲ適用スペカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第一項ノ法令ノ廢止ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ法令ノ廢止ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第五條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第六條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第七條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第八條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第九條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十一條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十二條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十三條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十四條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十五條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十六條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十七條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十八條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十九條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

業團體法、「ヲ加ヘ「產業組合中央會、」ヲ削ル

第二條中第一號ヲ第一號ノ二ノ第一號トシノ二ヲ第一號ノ二ノ二トシ第一號トシテ左ノ如ク加フ

一 市町村農業會、道府縣農業會及全國農業經濟會

二 茶業組合規則

前項ノ法令廢止前當該法令ノ罰則ヲ適用スペカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第一項ノ法令ノ廢止ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ法令ノ廢止ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第五條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第六條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第七條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第八條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第九條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十一條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十二條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十三條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十四條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十五條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十六條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十七條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十八條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第十九條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第六條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第七條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第八條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第九條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十一條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十二條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十三條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十四條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十五條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十六條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十七條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十八條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第十九條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十一條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十二條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十三條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十四條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十五條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十六條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十七條第一項第十一號中「產業組合」ノ上ニ「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

「農業團體」ヲ「農業團體聯合會」ヲ改ム

第二十八條中「畜産上ノ」ヲ「馬産上ノ」ニ改ム

第三十一條第一項中「第二項ノ場合ヲ除クノ外」ヲ削ル

同條第二項及第三項ヲ削ル

第三十六條及第三十九條第一項第二號中「家畜若ハ」ヲ削ル

第四十四條第二項ヲ削ル

第一百八條 臨時農村負債處理法中左ノ通改正ス

「産業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ改ム

第十一条第二項中「所屬信用組合」ノ上ニ「所屬市町村農業會若ハ」ヲ「組合員」ノ上ニ「會員若ハ」ヲ「信用組合」ノ上ニ「市町村農業會又ハ」ヲ加フ

第十三條中「産業組合中央金庫特別融通及損失補償法」ヲ「農林中央金庫特別融通及損失補償法」ニ改ム

第一百九條 臨時資金調整法中左ノ通改正ス

第二條中「産業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ改メ「戰時金融金庫」ノ下ニ「道府縣農業會」ニ改ム

第一百十條 家畜市場法中左ノ通改正ス

第三條第二項中「產牛馬組合法」ニ依リ設置シタル組合」ヲ「馬匹組合」馬匹組合聯合會、市町村農業會若ハ道府縣農業會」ニ改ム

第四條中「產牛馬組合法」依リ設置シタル組合」ヲ「馬匹組合」馬匹組合聯合會、市町村農業會又ハ道府縣農業會」ニ改ム

第一百一一條 農村負債整理組合法中左ノ通改正ス

第二條中「產業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ改メ「戰時金融金庫」ノ下ニ「道府縣農業會」ニ改ム

第一百九條 家畜市場法中左ノ通改正ス

第三條第二項中「產牛馬組合法」ニ依リ設置シタル組合」ヲ「馬匹組合」馬匹組合聯合會、市町村農業會若ハ道府縣農業會」ニ改ム

第一百三條 農業保險法中左ノ通改正ス

第二十一條第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟會又ハ」ヲ「產業組合法」ノ上ニ「農業團體法」ニ改ム

第一百四條 農業動產信用法中左ノ通改正ス

「信用組合」ノ上ニ「市町村農業會」ヲ正ス

第一百十一條 農村負債整理組合法中左ノ通改正ス

第七十六條第一項本文中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第七十七條第一項本文中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第八條第一項中「信用組合」ノ上ニ「市町村農業會」ヲ加フ

第二十四條第一項中「第百七十五條乃至第百七十七條」ニ改ム

至第百七十七條及第二百六條乃至第二百八條」ヲ「及第百七十五條乃至第百七十七條」ニ改ム

第一百二條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法中左ノ通改正ス

「產業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ、「產業組合中央金庫特別融通及損失補償法」ヲ「農林中央金庫特別融通及損失補償法」ニ改ム

第一百三條 第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會、產業組合」ニ改ム

同條第二項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會、產業組合」ニ加フ

第一百四條 第一項中「產業組合又ハ」ヲ「市町村農業會又ハ」ヲ加フ

第一百五條 第一項中「產業組合、農會」ヲ「市町村農業會、產業組合」ニ改ム

第一百六條 軍馬資源保護法中左ノ通改正ス

第一百七條 第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百八條 第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百九條 第一項中「產業組合又ハ」ヲ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百十條 第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百十一條 第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百十二條 農業倉庫業法中左ノ通改正ス

第一百三條 第一項中「販賣組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百四條 第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百五條 第一項中「農業團體法」ノ上ニ「前項ノ市町村農業會若ハ道府縣農業會又ハ產業組合若ハ」ニ、「組合員又ハ」ヲ加フ

第一百六條 第一項中「前項ノ產業組合又ハ」ヲ「會員又ハ組合員」ニ改ム

第一百七條 第一項中「農會又ハ」ヲ削ル

第一百八條 第二項ヲ削ル

第一百九條 第二項及第三項中「販賣組合」ノ上ニ「市町村農業會又ハ」ヲ加ヘ「其ノ組合員タル負債整理組合若ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人若ハ命令ノ定ムル所ニ整理事業ヲ行フ法人若ハ命令ノ定ムル所ニ依リ負債整理組合若ハ農村負債整理組合」ニ改ム

第一百十條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百五條 農業倉庫業法中左ノ通改正ス

第一百六條 軍馬資源保護法中左ノ通改正ス

第一百七條 第一項中「畜產組合聯合會、畜產組合」ヲ「馬匹組合聯合會、馬匹組合」ニ改ム

同條第二項中「命令ヲ以テ定ムル畜產組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル畜產組合聯合會」ヲ「馬匹組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル馬匹組合」ニ改ム

第一百八條 第一項中「畜產組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟會」ヲ加フ

第一百九條 第一項中「畜產組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟會」ヲ加フ

第一百十條 第一項中「軍用保護馬鍛鍊中央會」ヲ削ル

第一百十一條 中「又ハ軍用保護馬鍛鍊中央會」ヲ削ル

第一百十二條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十三條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十四條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十五條 國民貯蓄組合法中左ノ通改正ス

第一百六條 第二號及第二條第一項第四號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會」ヲ加フ

第一百七條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百八條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百九條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十一條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十二條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十三條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十四條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百五條 聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬會員ニ非ザル市町村農業會、道府縣農業會、全國農業經濟會」ニ改ム

第一百六條 軍馬資源保護法中左ノ通改正ス

第一百七條 第一項中「畜產組合聯合會、畜產組合」ヲ「馬匹組合聯合會、馬匹組合」ニ改ム

同條第二項中「命令ヲ以テ定ムル畜產組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル畜產組合聯合會」ヲ「馬匹組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル馬匹組合」ニ改ム

第一百八條 第一項中「畜產組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟會」ヲ加フ

第一百九條 第一項中「畜產組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟會」ヲ加フ

第一百十條 第一項中「軍用保護馬鍛鍊中央會」ヲ削ル

第一百十一條 中「又ハ軍用保護馬鍛鍊中央會」ヲ削ル

第一百十二條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十三條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十四條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十五條 國民貯蓄組合法中左ノ通改正ス

第一百六條 第二號及第二條第一項第四號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會」ヲ加フ

第一百七條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百八條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百九條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十一條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十二條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十三條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十四條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百五條 聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬會員ニ非ザル市町村農業會、道府縣農業會、全國農業經濟會」ヲ爲スノ外附隨トシテ前項ノ事業ヲ爲スノ所屬會員又ハ所屬組合若ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ所屬會員又ハ所屬組合若ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲スノ外附隨トシテ「道府縣農業會、全國農業經濟會」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第一百六條 軍馬資源保護法中左ノ通改正ス

第一百七條 第一項中「畜產組合聯合會、畜產組合」ヲ「馬匹組合聯合會、馬匹組合」ニ改ム

同條第二項中「命令ヲ以テ定ムル畜產組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル畜產組合聯合會」ヲ「馬匹組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル馬匹組合」ニ改ム

第一百八條 第一項中「畜產組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟會」ヲ加フ

第一百九條 第一項中「畜產組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟會」ヲ加フ

第一百十條 第一項中「軍用保護馬鍛鍊中央會」ヲ削ル

第一百十一條 中「又ハ軍用保護馬鍛鍊中央會」ヲ削ル

第一百十二條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十三條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十四條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百十五條 國民貯蓄組合法中左ノ通改正ス

第一百六條 第二號及第二條第一項第四號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農業會」ヲ加フ

第一百七條 第二項及第三項ヲ削ル

第一百八條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百九條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十一條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十二條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十三條 產業組合法中左ノ通改正ス

第一百十四條 產業組合法中左ノ通改正ス

ヲ「農林中央金庫」ニ改ム
第百二十四條 郵便貯金法中左ノ通改正ス
第四條第三號中「産業組合又ハ産業組合中央金庫」ヲ「市町村農業會、道府縣農業會、全國農業經濟會、産業組合、産業組合聯合會又ハ農林中央金庫」ニ改ム

第百二十五條 所得稅法中左ノ通改正ス
第十一條第一項第五號中「産業組合貯金」ノ上ニ「市町村農業會貯金」ヲ加フ

第十二條第一項第三項中「産業組合貯金」ノ上ニ「市町村農業會貯金」ヲ加フ

第百二十六條 種馬統制法中左ノ通改正ス
第百二十七條 森林法中左ノ通改正ス
第十條及附則第八項中「畜產組合又ハ畜產組合聯合會」ヲ「馬匹組合、馬匹組合聯合會」ニ改ム

第十二條第二項中「畜產組合、畜產組合聯合會」ノ上ニ「市町村農業會」ヲ加フ

第百二十九條 製絲業法中左ノ通改正ス
第十一條第一項第六號中「公共團體」ノ下ニ「市町村農業會」ヲ加フ

第十二條 削除

第百三十條 昭和十五年法律第九十二號中左ノ通改正ス
第十二條中「畜產組合、畜產組合聯合會」ヲ「馬匹組合、馬匹組合聯合會、市町村農業會、道府縣農業會」ニ改ム

第百三十一條 第百七條、第百六條、第百十八條、第百十九條ノ規定施行前此等ノ規定ニ依ル改正ニ係ル畜產組合法、軍馬資源保護法、產業組合法又ハ產業組合中央金庫法ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第百三十二條 本法ニ規定スルモノノ外本法ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百三十三條 本法ニ規定スルモノノ外本法ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百三十四條ノ六 第七十四條ノ三第一項ノ規定ニ依リ出資ヲ爲サシムル森林組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行、農工銀行又ハ農林中央金庫ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲タルトキハ同項ノ森林組合聯合會ハ銀行為農林中央金庫ノ委任ヲ受け其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

第一條 水產業團體法案

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿 忠彦

衆議院議長 岡田 忠彦

道府縣水產業會及中央水產業會トス
第十一條 漁業會ハ水產業ニ關スル國策ニ即應シ漁業ノ整備發達ヲ圖リ且漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ會員ノ漁業及經濟ノ發達ニ必要ナル事業ヲ行フコトヲ目的トス
第十二條 漁業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
一 漁業ノ指導獎勵其ノ他漁業ノ發達ニ關スル施設
二 漁業ノ統制ニ關スル施設
三 水產動植物ノ蕃殖保護 漁場ノ利用其ノ他會員ノ漁業生產ノ確保強化ニ關スル施設
四 喧溜、船揚場、漁礁其ノ他會員ノ漁業ニ必要ナル設備ニ關スル施設
五 會員ノ遭難防止又ハ遭難救恤ニ關スル施設
六 會員ニ出資ヲ爲サシムル漁業會（以下ル）爲前項ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フ
一 會員ノ漁獲物其ノ他ノ生産物ノ加工、保藏、運搬又ハ販賣ニ關スル施設
二 會員ノ漁業ニ必要ナル物ノ供給又ハ資金ノ貸付ニ關スル施設
三 會員ノ漁業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲前二項ノ事業ノ外會員ニ必要ナル物ノ供給若ハ資金ノ貸付又ハ會員ノ貯金ノ受入ニ關スル事業ヲ行フコトヲ得
四 漁業會ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ前三項ノ事業ニ附帶スル事業ヲ行フコトヲ得
五 漁業會ノ施設ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員以外ノ者ヲシテ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第二章 漁業會
第十一條 漁業會ハ水產業ニ關スル國策ニ即應シ漁業ノ整備發達ヲ圖リ且漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ會員ノ漁業及經濟ノ發達ニ必要ナル事業ヲ行フコトヲ目的トス
第十二條 漁業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
一 漁業ノ統制ニ關スル施設
二 水產動植物ノ蕃殖保護 漁場ノ利用其ノ他會員ノ漁業生產ノ確保強化ニ關スル施設
三 喧溜、船揚場、漁礁其ノ他會員ノ漁業ニ必要ナル設備ニ關スル施設
四 會員ニ出資ヲ爲サシムル漁業會（以下ル）爲前項ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フ
一 會員ノ漁獲物其ノ他ノ生産物ノ加工、保藏、運搬又ハ販賣ニ關スル施設
二 會員ノ漁業ニ必要ナル物ノ供給又ハ資金ノ貸付ニ關スル施設
三 會員ノ漁業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲前二項ノ事業ノ外會員ニ必要ナル物ノ供給若ハ資金ノ貸付又ハ會員ノ貯金ノ受入ニ關スル事業ヲ行フコトヲ得
四 漁業會ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ前三項ノ事業ニ附帶スル事業ヲ行フコトヲ得
五 漁業會ノ施設ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員以外ノ者ヲシテ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第十三條 漁業會ハ出資漁業會ニシテ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ限り自ラ漁業ヲ爲スコトヲ得

漁業會ノ會員（漁業者ニ非ザル會員ヲ除ク）ハ當該漁業會ノ取得シ若ハ貸付ヲ受ケタル專用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス但シ會則ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十四條 漁業會ノ地區ハ市町村（町村ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ）又ハ市町村内ノ漁業者ノ部落ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

命令ヲ以テ定ムル漁業ニ係ル漁業會（以下特別漁業會ト稱ス）ノ地區ハ前項ノ規定ニ拘ラズ道府縣又ハ全國ノ區域ニ依ル第十五條 漁業會特別漁業會ヲ除クハ勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除クノ外其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ借受ケ漁業ヲ爲ス者ヲ以テ其ノ會員トス

特別漁業會ハ勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除クノ外其ノ地區内ニ住所ヲ有シ當該漁業ヲ爲ス者ヲ以テ其ノ會員トス

特別漁業會ハ命定ムル所ニ依リ會員トスル者ハ總テ其ノ會員トス

第二十條 漁業會成立シタルトキハ第十五條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ會員トス

第二十一條 會則ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 目的及事業
二 名稱
三 地區
四 事務所ノ所在地
五 出資又ハ費用分擔ノ方法
六 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

八 主務大臣ノ指定スル其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者及其ノ指定ニ係ル漁業權ヲ借受ケ漁業ヲ爲ス者ヲ以テ其ノ會員トス

第三十二條 漁業會ノ役員ノ任期ハ左ノ

通トス

會長

三年

副會長

三年

理事

二年

監事

二年

評議員

二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト
雖モ副會長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ
監事ハ任期中ト雖モ總會ニ於テ之ヲ解
任スルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依ル副會長又ハ理事ノ
解任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザ
レバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十三條 漁業會ハ會則ノ定ムル所ニ
依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコ
トヲ得

前項ノ規定ニ依ル經費賦課ハ第十二條
第一項ノ事業及此等ノ事業ニ關係アル
範圍内ニ於ケル同條第四項ノ事業ニ關
シ勅令ヲ以テ定ムル限

第三十四條 漁業會ハ前條第二項ノ事業
ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ命令ノ定
ム所ニ依リ其ノ會員ノ全部又ハ一部
ニ對シ同條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特
別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第三十五條 漁業會ハ會則ノ定ムル所ニ
依リ會則又ハ統制規程ニ違反シタル會
員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十六條 漁業會ノ賦課金又ハ過怠金
ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ當該漁業
會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅
ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ

漁業會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市
町村ニ交付スベシ

三十日以内ニ其ノ處分ニ着手セズ又ハ
九十日以内ニ之ヲ結了セザルトキハ會
長ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ處分ス
ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第

百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用
前二項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權
ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノ
ノノ徵收金ニ次ギ其ノ時效ニ付テハ市
町村稅ノ例ニ依ル

漁業會ノ賦課金ノ賦課又ハ過怠金ノ徵
收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異
議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコト
ヲ得

第三十七條 漁業會ハ會則ノ定ムル所ニ
依リ第三十三條第二項ノ事業ニ付使用
料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテ
ハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十八條 出資漁業會ノ會員ハ出資一
口以上ヲ有スベシ但シ勅令ヲ以テ定ム
ル者ハ此ノ處分ニ在ラズ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

第三十九條 出資漁業會ノ會員ニシテ出
資ヲ有スルモノノ責任ハ第三十三條及
第三十四條ノ規定ニ依ル費用負擔ノ外

第三十條 漁業會ハ會則ノ定ムル所ニ
依リ會則又ハ統制規程ニ違反シタル會
員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十一條 漁業會ハ會則ノ定ムル所ニ
依リ會則又ハ統制規程ニ違反シタル會
員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

シ之ヲ變更シ又ハ廢止セントスルトキ
亦同ジ

ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ漁業
會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又

ハ會則ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命
ズルコトヲ得

第四十二條 行政官廳水產業ノ整備發達
ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ漁業
會ノ會員ニ對シ當該漁業會ノ行フ漁業
ニ關スル統制ニ從フベキコトヲ命ズル
コトヲ得

行政官廳水產業ノ整備發達ヲ圖ル爲特
ニ必要アリト認ムルトキハ漁業會ノ會
員以外ノ者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモ
ノニ對シ當該漁業會ノ行フ漁業ニ關ス
ル統制ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ
得

第四十三條 行政官廳ハ漁業會ニ對シ業
務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ
發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 行政官廳必要アリト認ムル
トキハ當該官吏ヲシテ漁業會ノ事務所、
事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀
況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ
検査セシムルコトヲ得

第四十五條 會長ノ職務ヲ行フ者ナキト
ヲ得

第四十六條 行政官廳ハ會員其ノ他適當ナル者
ヲ指定シテ會長ノ職務ヲ行ハシムルコ
トヲ得

第四十七條 行政官廳ハ副會長、理事、監事又ハ評
議員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス
タルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

ト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得
行政官廳ハ副會長、理事、監事又ハ評
議員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス
處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ
タルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第四十八條 漁業會ニハ所得稅、法人稅
及營業稅ヲ課セズ

第三章 製造業會

第四十九條 製造業會ハ水產業ニ關スル
國策ニ即應シ水產物製造業ノ整備發達
ヲ圖リ且會員ノ水產物製造業ノ發達ニ
必要ナル事業ヲ行フコトヲ目的トス
第五十條 製造業會ハ主務大臣ノ指定ス
ル地區ニ付其ノ指定スル水產物製造業
ノ種類別ニ之ヲ設立ス

第五十一條 製造業會ハ其ノ目的ヲ達ス
ル爲左ノ事業ヲ行フ

一 當該水產物製造業ノ指導獎勵其ノ
他當該水產物製造業ノ發達ニ關スル
施設

二 當該水產物製造業ノ統制ニ關スル
八製造若ハ加工ノ設備ニ對スル檢查
ニ關スル施設

三 會員ノ製品、其ノ原料若ハ材料又

ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ
第四十條 漁業會ハ命令ノ定ムル所ニ依
リ總會ノ議決ヲ經テ漁業ノ統制ニ關ス
ル規程ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベ
水產業ノ整備發達上會長ヲ不適當ナリ

會ヲ除ク以下同ジ)ヲ設立スル爲必要アリト認ムルトキハ設立委員ヲ命シ漁業會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第八十九條 行政官廳前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ當該漁業會ノ地區タルベキ區域ヲ地區トスル漁業組合ニ對シ其ノ解散ヲ命ズ

第九十條 設立委員ハ遲滯ナク前條ノ漁業組合ノ組合員及第十五條第一項ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ノ總會ヲ招集シ其ノ議決ヲ經テ會則、漁業組合ノ出資ニ對スル漁業會ノ出資ノ引當其ノ他設立ニ必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第九十一條 漁業會成立シタルトキハ前條ニ規定スル者ハ第十五條第一項ノ規定ニ依ラズ總テ其ノ會員トス

第九十二條 第七十九條第二項及第八十一条ノ規定ハ漁業會ニ付之ヲ準用ス

第九十三條 漁業會方前條ニ於テ準用スル第七十九條第二項ノ規定ニ依リ漁業組合ノ權利義務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ當該漁業組合ニ付テノ漁業權又ハ入漁權ニ關スル登錄ハ之ヲ當該漁業會ニ付テノ漁業權又ハ入漁權ニ關スル登記ト看做ス

第九十四條 第七十八條乃至前條ニ規定スルモノノ外水產業團體ノ設立並ニ第十九條第一項、第八十四條及第八十九條ノ法人(以下受命法人事稱ス)ノ解散ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十五条 第七十八條乃至前條ノ規定ニ依リ水產業團體成立シタル場合ニ於

テ其ノ水產業團體ニ權利義務ヲ承繼スル場

ラレタル受命法人ヲ組織スル者ト當該水產業團體トノ間又ハ當該受命法人ノ所屬シタル法人ト當該水產業團體トノ間ノ所屬其ノ他ノ關係ニ付テハ本法及他ノ法令ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 受命法人ノ行フ第十二條第四項、第五十五條第三項又ハ第六十二條第一項第六號ニ掲タル事業ヲ第七十九條第二項(第八十七條及第九十二條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム以下同ジ)ノ規定ニ依リ當該受命法人ノ權利義務ヲ承繼シタル水產業團體が引續キ行フ場合ニ於テハ當該水產業團體ハ當該事業ニ關シ第十二條第四項、第五十五條第三項又ハ第六十二條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第九十七条 第四條ノ規定施行ノ際現ニ同條第一項ニ掲タル名稱ヲ其ノ名稱中ニ用フル者ハ同條ノ規定施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス第七十六条ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ同項ノ者ニ適用セズ

第九十八条 水產業團體第七十九條第二項ノ規定ニ依リ受命法人ヨリ不動産又ハ船舶ニ關スル權利ヲ承繼スル場合ニ於ケル其ノ取得ニ付登記ヲ受タルトキハ其ノ登錄稅額ノ額ハ不動產又ハ船舶ノ千分ノ三トス但シ登錄稅法ニ依リ算出シタル登錄稅ノ額が本法ニ依リ算出シタル稅額ヨリ少キトキハ其ノ額

二項ノ規定ニ依リ漁業協同組合又ハ漁業組合聯合會ノ權利義務ヲ承繼スル場合ニ於テハ特別法人稅法ノ適用ニ關シ

水產業團體トノ間又ハ當該受命法人ノ所屬シタル法人ト當該水產業團體トノ間ノ所屬其ノ他ノ關係ニ付テハ本法及他ノ法令ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第九十九條 産業聯合中央金庫法中左ノ通改正ス

第二條第三項中「漁業組合聯合會」ヲ「道府縣出資水產業會」ニ改ム

第五條第一項中「漁業組合聯合會又ハ漁業協同組合」ヲ「中央水產業會、道府縣出資水產業會、製造業會又ハ出資漁業會」ニ改ム

ヲシテ出資ヲ爲サシメザルモノヲ除ク)

百五條 產業聯合中央金庫法中左ノ通改正ス

第二條第三項中「漁業組合聯合會」ヲ「道府縣出資水產業會」ニ改ム

業組合聯合會ノ權利義務ヲ承繼スル場合ニ於テハ漁業協同組合又ハ漁業組合聯合會ハ之ヲ合併ニ因リテ消滅シタル特別ノ法人ト看做シ水產業團體へ之ヲ合併ニ因リテ設立シタル特別ノ法人ト看做ス

水產業團體ガ第七十九條第二項ノ規定ニ依リ承繼シタル財產ニ付テハ特別法人稅法ニ依ル剩餘金ノ計算上之ヲ益金ニ算入セズ

百條 水產會、漁業組合及漁業組合聯合會ノ役員、總代、議員又ハ特別議員ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ任期滿了シタルトキト雖モ第七十九條第二項ノ規定ニ依ル當該團體ノ解散ニ至ル迄仍在任ス

百一條 水產會法ハ之ヲ廢止ス

政府以外ノ出資者ノ有スベキ出資口數ハ命令ヲ以テ定ムル口數ヲ超ユルコトヲ得ズ

百二條 第一項中「漁業組合關係者」ヲ「水產業團體關係者」ニ改ム

第十三條第一號乃至第四號、第六號及第七號中「所屬漁業組合聯合會又ハ所屬漁業協同組合」ヲ「又ハ所屬水產業團體」ニ、同條第五號中「漁業組合聯合會」ヲ「水產業團體」ニ改ム

第十五條第一項第三號及第四號中「漁業組合聯合會又ハ漁業組合」ヲ「又ハ水產業團體」ニ改ム

第六十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第六十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第七十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第八十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第九十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百二十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百三十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百四十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百五十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百六十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百七十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百八十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十一條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十二條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十三條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十四條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十五條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十六條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十七條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十八條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第一百九十九條中「漁業組合員」ヲ「漁業會」ニ改ム

第二條第五項ヲ左ノ如ク改ム

第二條第六項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第七項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第八項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第九項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第十項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第十一項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第十二項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第十三項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第十四項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第十五項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム

第二條第十六項中「漁業組合聯合會」ヲ「漁業組合聯合會」ニ改ム</p

前條ノ規定ノ施行ニ關シ必要ナル規定
ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百八條 本法ニ規定スルモノノ外本法

ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以

テ之ヲ定ム

〔國務大臣井野碩哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(井野碩哉君) 只今議題トナリ

マシタ農業團體法案外一件ノ提出理由ヲ御

説明申上ダマス、先づ農業團體法案ニ付テ申

上げマス、本法律案ハ、大東亞戰爭ノ完遂ヲ

圖ル爲ニ戰力增强ノ一翼ヲ負荷セラレタル

農業ノ長期戰勢確立上最モ緊要ト致シマ

スル農業諸團體ノ統合整備ヲ圖ルコトヲ目

的ト致スモノデアリマス、今次聖戰ノ展開

ニ伴ヒマシテ、我ガ國ノ農村ハ、食糧其ノ

他重要農產物ノ增産確保ト、健全ナル民族

培養ノ基地ト致シマシテ、愈、其ノ重要性ヲ

増大シテ參ツテ居ルノデアリマス、政府ト致

シマシテハ、幾多ノ道條件ヲ克服シテ、其

ノ使命ヲ達成セシムベク努力致シテ居ルノ

デアリマスルガ、是等ニ關シマスル諸施策ヲ

深ク滲透セシメ、且有効的確ニ推進致シマ

ス爲ニハ、農業諸團體ノ活動ニ俟ツ所益、大

ナルモノガアルノデアリマス、然ルニ御承知

ノ通り、我ガ國ニ於キマシテハ農業ノ分化

發展ノ途上ニ於キマシテ、ソレハ其ノ時

代的要請ニ從ヒ、各種ノ團體ノ成立ヲ見

是等ノ諸團體ハ、嘗テハ各其ノ獨自ノ分野

ニ於テ農業ノ進展ニ寄與致シツ、發達シテ

參ツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ農業團體

ノ分立ノ意義ハ、昨今著シ減退致シマシ

テ、寧ロ其ノ分立ノ爲ニ、或ハ團體ノ人的

的經費ノ徒費、構成員ニ對スル物的負擔

ノ増嵩ヲ來シ、或ハ農業經營上必要ナル綜

合的指導運營ノ困難等ノ諸事情ヲ生ジ、延

イテハ戰力增强ニ關スル農業諸施策ノ徹底

ヲ期スル上ニモ、又農業者ガ其ノ負荷セラ

レタル農業增産ノ責務ヲ完ウスル上ニモ、

幾多ノ支障ヲ生ズル事情ニ立到ツテ居ルノ

デアリマス、政府ハ是等ノ諸事情ニ鑑ミマ

シテ、今回農會、產業組合、畜產組合、養

贊業組合及茶業組合ノ系統諸團體ヲ統合整

備致シマシテ、全農業者ヲ打ッテ一丸トシ、

生産ニ關スル熱意ノ昂揚及結集ヲ圖リ、以

テ戰力增强ニ邁進スベク、速カニ農業部門

ニ於ケル總力發揮ノ體制ヲ確立致サムトス

ルモノデアリマス、尙農業團體法制定ニ伴

ヒ、既存團體諸法令ニ付キマシテモ、時局

下緊要ナル若干ノ改正ヲ加ヘ、其ノ他關聯

事項ニ所要ノ改正ヲ致シタノデアリマス、

以上ノ理由ニ依リマシテ茲ニ本法律案ヲ提

出致シマシタ次第デアリマス、次ニ水產業

團體法案ニ付キマシテ御説明申上ダマス、

水產業ハ、元來我ガ國民營養食糧ノ主要ナ

ル給源デアリマシテ、戰時下食糧確保ノ爲

ニ極メテ重要ナル使命ヲ有スルノデアリマ

スルガ、現下其ノ生產資材ノ供給關係其ノ

他諸般ノ情勢ハ、必ズシモ容易ナラヌモノ

ガアリマスノデ、之ガ使命ノ達成ヲ圖ル爲

ニハ、斯カル情勢ノ下ニ於テ斯業ノ生產力

ヲ最高度ニ發揚シ得ルノ體制ヲ確立スル

ノ必要ガアルノデアリマス、然ルニ現在水

產業界ニ於キマシテハ、水產會ノ系統團體、

漁業組合ノ系統團體、水產物製造業者ノ團

體等ガアリ、是等諸團體ハソレハ相異ナル

性質ト目的トヲ有シ、各別ニ斯業ノ發展ニ貢

献致シテ參ッタノデアリマスルガ、戰時下ニ於ケ

ル各般ノ情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、是等ノ團體

資材ノ有效適切ナル配給ト、水產物生產計畫

ノ樹立及ビ其ノ圓滑ナル實施等ニ遺憾尠カ

ラスモノアルニ到ツタノデアリマス、仍テ

政府ハ、是等ノ諸事情ニ鑑ミマシテ是等ノ

團體ヲ統合整備致シテ、既ニ先般企畫實施

中ノ海洋漁業統制ト相竝シ、主トシテ沿

岸漁業ノ關係者ヲ打ッテ一丸トシ、刻下ノ要

請ニ即應シ得ル新タナル水產團體ヲ設ケ、

以テ水產部門ニ於ケル生產增强ノ達成ト、

長期戰對處ノ體制ヲ確立致サムトスルモノ

デアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、茲

ニ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、

通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス

ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普

通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス

ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ

爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普
通歲入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當ス
ル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
案
昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
第一項ヲ左ノ如ク改ム
大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲
必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會
計ニ於ケル歲出豫算額ヨリ當該特別會計
ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普<br

コト、及び課税ノ關係ニ於テハ之ヲ損金ニ算入スル旨ヲ規定シテ居ルノデアリマス、次ニ農業保險ノ保険料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案ニ於キマシテハ、農業保險法中改正法律案ノ第五十六條ヲ承ケマシテ、官民相互ノ事務處理上ノ便宜ヲ考慮シテ、其ノ交付ノ方法及手續ヲ定メ、又國庫内ニ於ケル分擔關係及會計經理ノ方法ヲ規定セラレテ居リマス、又食糧管理特別會計法中ノ改正ハ、一般會計及農業再保險特別會計へ繰入金ヲ爲シ得ルコト、農業再保險特別會計ガ之ヲ受入レ得ルコト、並

ニ臺灣米穀移出管理特別會計カラ、米穀其ノ他ノ食糧ヲ買入ル、場合ニ於キマシテハ、現金ヲ以テ支拂ヲ爲スコトヲ得ルコト、及ビ米麥ノ國營檢查ニ關聯スル條文整理ニ關スル事項ガ規定サレテ居ルノデアリマス、以上ガ制度改正ニ伴フ法案改正ノ概要デアリマス、委員會ニ於キマシテハ、時局下特ニ緊要ナル事項ニ關シマシテハ、屢々記ヲ中止シテ懇談ヲ致シマシタルガ故ニ、茲ニ公表ノ自由ヲ有シマセヌガ、其ノ御紹介申上げマス、第一ハ、今回ノ農業保險制度ノ改正ニ際シマシテ、水稻ノ冷害ヲ保険事故ニ加ヘザリシ事由、及ビ之ヲ共濟事業トスル場合ニ於テ、段當共濟金ノ交付額ニ付、保険トノ間ニ差等ヲ設ケタル理由ニ付テデアリマス、之ニ付キマシテ政府ノ答辯ハ、水稻ノ冷害ヲ保険事故ニ加ヘルコトハ、現在保險技術上困難ナ事情ガアリ、又後段ノ段當共濟額ニ關シマシテハ、現行制度トノ振合ヒ上、冷害共濟事業ノ共濟金ノ引上ノ割合ハ保險ヨリ大元アリ、農家ノ負擔關係等ヲ考慮スルトキハ此ノ程度ヲ以

テ適當ト認メルト云コトデアリマシタ、之ニ付キマシテハ、保險料ニ對スル農家ノ負擔ハ増加スルヤノ點デアリマシタ、之ニ付キマシテハ、保險料及共濟掛金ニ付テハ、段當金額ノ引上及セラレテ居リマス、又食糧管理特別會計法ノ實施トノ關係デアリマシテ、之ニ付キマシテハ現狀ヨリ若干ヲ增加スルコトノ已ムナキ旨ノ答辯ガアリマシタ、第三ハ、農業團體法ノ實施トノ關係デアリマシテ、政府ノ答辯ハ、ト云フコトニ關シマシテ、之ニ農業保險制度ノ構成ト如何ニ結び付ケテ行クカ

團體統合ヲ實施シタル後ノ情勢ニ應ジ、實態ニ即シテ調整ヲ爲スコトニスルガ、結合ニ至ル途上ニ於テモ、十分各種團體トノ聯繫ヲ保チ、圓滑ニ遂行シ得ルヤウ努力スル旨ヲ答辯ガアリマシタ、其ノ他農業保險ニ關聯シテ、災害防除ノ對策、農產物價格ト、他物價トノ均衡ニ關スル問題、或ハ又總テノ市町村農會ヲシテ農業保險ニ參加セシムル條項ニ關シテ等、重要ナル諸問題ニ付テ、多クノ委員ヨリ熱心ナル質疑ガアリ、活潑ナル意見ノ交換ガ行ハレタノデアリマスガ、其ノ内容ハ一々茲ニ御報告致スコトヲ省略サシテ戴キ、詳細ハ速記錄ニ依ツテ御議長(伯爵松平賴壽君)御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君)三案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、三案全部、委員長ノ報告通り御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君)御異議ナイト認メマス

昭和十六年度歲入歲出總決算並昭和十六年歲各特別會計歲入歲出決算及既往年度檢査未確定金額ノ検查確定シタルモノヲ審查シ

第一

昭和十六年度各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設改良及自動車線設備費第二項鐵道改良費中鐵道省ノ支出同上用品勘定歲出第一款用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道省ノ支出ニ係ル件

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君)西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君)御異議ナイト認メマス

右ハ政府ノ措置適切ナラサルモノト認ム

昭和十六年度歲入歲出總決算歲入經營鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設改良及自動車線設備費第二項鐵道改良費中鐵道省ノ支出ニ係ル件、第六款雜收入第二項懲罰及沒收金中靜岡地方裁判所ニ於テ歲入ニ編入スベキ件、第三項辨償及違約金中靜岡地方裁判所ニ於テ歲入ニ

第一二八
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君)御異議ナイト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君)御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君)日程第七、昭和十六年度歲入歲出總決算、昭和十六年度各特別會計歲入歲出決算報告、日程第八、臨時陸軍材料資金歲入歲出決算報告、會議、委員長報告、是等ノ四件ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君)日程第七、昭和十六年度歲入歲出總決算報告、會議、委員長報告、是等ノ四件ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君)日程第七、昭和十六年度歲入歲出總決算報告、會議、委員長報告、是等ノ四件ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君)日程第七、昭和十六年度歲入歲出總決算報告、會議、委員長報告、是等ノ四件ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長

昭和十八年二月十五日

委員長 男爵深尾隆太郎
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

臨時陸軍材料資金歲入歲出決算ヲ審査シ

第一

臨時陸軍材料資金歲入歲出決算歲出

第一款材料物品費第一項材料物品費
中陸軍東京經理部ニ於テ支出ニ整理
セサル件

右ハ政府ノ措置適切ナラサルモノト認ム

其ノ他異議ナシ

右ノ通議決セリ依テ及報告候也

昭和十八年二月十五日

委員長 男爵深尾隆太郎
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

昭和十六年度國有財產增減總計算書ヲ審
查シ總テ異議ナキモノト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十八年二月十五日

委員長 男爵深尾隆太郎
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

昭和十七年三月三十一日現在國有財產現
在額總計算書ヲ審査シ總テ異議ナキモノ
ト議決セリ依テ及報告候也

昭和十八年二月十五日

委員長 男爵深尾隆太郎
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

昭和十六年度國有財產現
在額總計算書ヲ審査シ總テ異議ナキモノ
ト議決セリ依テ及報告候也

昭和十八年二月十五日

委員長 男爵深尾隆太郎
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

○男爵深尾隆太郎君 昭和十六年度歲入歲
出總決算、昭和十六年度各特別會計歲入歲
出決算、臨時陸軍材料資金歲入歲出決算並
=昭和十六年度國有財產增減總計算書 及

期末カラ大東亞戰爭ガ勃發シマシタノデ既
定計畫ノ變更ニ依ルモノ、又事業不進涉ニ依
テ補助費等ノ不用ニナツタモノ、茲ニ各方面

ビ昭和十七年三月三十一日現在國有財產現
在額總計算書ニ付キマシテ、其ノ概要ヲ申
上ゲ、次ニ委員會ノ審査ノ結果ヲ御報告申
上ゲマス、先づ政府ノ説明ヲ要約致シマシ
テ、決算面ニ現レテ居リマスル數字ノ全貌
ニ付テ極メテ簡単ニ申上ゲマス。昭和十六
年度歲入調定濟額ハ八十六億六千餘萬圓デ
合計五千八百萬圓ヲ差引キマスト、實際ノ
收入濟額ガ八十六億百餘萬圓デアリマス、
之ニ對シテ歲出ノ支出濟額ガ八十一億三千
三百餘萬圓、差引剩餘金四億六千七百餘萬
圓デアリマス、此ノ剩餘金ハ會計法第二十
六條ノ規定ニ依リマシテ、之ヲ昭和十七年
度ノ歲入ニ繰入レテアリマス、右歲入歲出
ヲ豫算ト比較シテ見マスルト、歲入豫算額
ハ八十二億一千百萬圓デアリマスカラ、只
今申上ゲマシタ收入濟額八十六億百餘萬圓
ト比較シマスルト、三億九千餘萬圓ノ增收
デアリマス、而シテ其ノ主ナル增收ハ租稅
收入デアリマス、歲出豫算額ハ八十六億五
千七百餘萬圓デアリマス、之ニ豫算決定後
前年度豫算額ヲ本年度ニ繰越シマシタルモノ
ガ四億八百餘萬圓竝ニ國庫豫備金外國庫剩
餘金ヲ以テ臨時支出致シマシタモノガ一億
千八百餘萬圓デアリマス、之ヲ合計シマス
ルト九十一億八千五百餘萬圓ト相成リマス、斯
此ノ中カラ先程申シマシタ實際ノ支出額八
十一億三千三百餘萬圓竝ニ次年度ニ繰越使
用ノ一億五千五百萬圓ヲ差引キマスト不用
額ガ八億九千五百餘萬圓ト相成リマス、斯
ク多額ノ不用額ヲ生ジマシタ主ナル理由ハ、

ノ經費節約ニ依ルモノ等デアリマス、次ニ
各特別會計ハ四十七會計ニ上ツテ居リマス
ガ、取立テ、申上ゲル程ノコトモナク、煩
雜ニ瓦リマスノデ省略ヲ致シマス、次ニ臨
時陸軍材料資金歲入歲出決算、此ノ決算ハ
曩ニ支那事變ニ際シマシテ、事變地ニ在ル
軍需品ノ材料及原料ヲ取得スルニ便ズル爲
ニ、昭和十四年四月法律第五十四號ヲ以テ
定メラレ、其ノ後昭和十七年二月法律第六
號ヲ以テ改正セラレ、其ノ附則ニ於キマシ
テ、本會計ヲ昭和十七年三月三十一日ヲ以
テ終結スルコトトシ、其ノ決算ヲ、昭和十
六年度歲入歲出總決算ト共ニ帝國議會ニ提
出スベキ旨ガ定メラレテアツタノデ、今回此
ノ決算ガ提出サレタモノデアリマス、此ノ
決算ハ、豫算額三億六千餘萬圓、歲入收入
濟額三億五千五百萬圓、歲出支出濟額二億
九千萬圓ト云フモノデアリマス、次ニ國有
財產ニ付キマシテハ、昭和十六年度增減總
計算書ニ依リマスレバ、此ノ年度ニ於キマ
シテハ各種財產合計三十億八千二百餘萬圓
ノ增加デアリマス、次ニ昭和十七年三月三
十一日現在額總計算書、是ハ國有財產法二
十六條ノ規定ニ依リマシテ、每五箇年目ニ
其ノ現在額ノ計算書ヲ調製致シマシテ帝國
議會ニ提出セラル、コトニナツテ居ルモノ
デアリマス、之ニ依リマスルト、昭和十七
年三月三十一日現在額總計算百八十六億九千
餘萬圓デアリマシテ、五年前ニ較ヘマシテ
ヲ再ビナカラシメムトノ努力ニ對シテ、深ク
敬意ヲ表スルモノデアリマス、當委員會ニ
於キマシテモ、委員諸君ト御謀リヲ致シマ
シテ、慎重ニ審査ヲ致シタノデアリマスガ、
將來ニ於テハ尙歲計ノ異常膨脹ニ對シテ一
層審査ノ重要性ヲ加フル次第デアルト感ズ
ルモノデアリマス、審査ニ際シマシテハ、
會計檢査院ノ批難事項ニ關スル種々ノ質疑
付督疑、即チ或項目ニ於テ其ノ豫算額ト決
算額トノ差違ガ甚ダシキモノガアル、其ノ
理由如何、當時ノ豫算見積リニ杜撰ノ點ハ

テ七十二件、臨時陸軍材料資金會計ニ於
テ一件、合計百十三件デアリマス、國有
財產ニ於テハ一件アリマシタガ、是ハ前ノ
檢査報告申ニ指摘サレテ居リマスモノデア
リマス、儲之ガ審査デアリマスルガ、元來
會議經理事務ト申シマスモノハ、多クノ場
合受動的デ地味ナ仕事デアリマスカラ、動
リマス、儲之ガ審査デアリマスルガ、實
業經營ノ神經系統ヲ成スモノデアルト
思フノデアリマス、會計精神ガ弛緩致シテ
居リマシテハ、其ノ事業ノ發展へ期待出來
ナイノミナラズ、内部ニ腐敗ヲ生ズル虞ガ
アルモノデアリマス、國家ノ經綸ニ當ツテ
モ同様デアリマス、會計整備ノ忽ニスペカ
ラザルコトハ言ヲ俟タヌコトト存ズルノデ
アリマス、私ハ今回決算ノ數字ヲ見マシテ、
モ職責遂行ニ邁進シ居ラル、コト、又會
計檢査院ガ周到ナル注意ヲ以テ其ノ非違ノ
點ヲ戒シムルニ心ヲ潛メ、會計官ヲシテ過
失ヲ再ビナカラシメムトノ努力ニ對シテ、深ク
敬意ヲ表スルモノデアリマス、當委員會ニ
於キマシテモ、委員諸君ト御謀リヲ致シマ
シテ、慎重ニ審査ヲ致シタノデアリマスガ、
將來ニ於テハ尙歲計ノ異常膨脹ニ對シテ一
層審査ノ重要性ヲ加フル次第デアルト感ズ
ルモノデアリマス、審査ニ際シマシテハ、
會計檢査院ノ批難事項ニ關スル種々ノ質疑
付督疑、即チ或項目ニ於テ其ノ豫算額ト決
算額トノ差違ガ甚ダシキモノガアル、其ノ
理由如何、當時ノ豫算見積リニ杜撰ノ點ハ

ナカツタカ、又延イテ其ノ項目ノ本年度ノ豫算見積リニ其ノ虞ガナキヤヲ質サレタモノモアリマス、又國有財產ニ付キマシテハ、國有財產ノ評價ノ範圍並ニ價格ノ算定方法等ノ規定ガ不徹底ナモノガアルノデ、寧ロ根本的ニ國有財產法改正ヲ考慮スベキニ非ズヤト云フ示唆多キ質問ガアリマシタ、其ノ他細カイ質疑應答ハ省略ヲ致シマス、而シテ其ノ審査ノ結果ハ、御手許ニ差上ゲテアリマス報告書ノ通り、政府ノ措置適切ナラザルモノト認ムルモノ三件アリマス、之ヲ簡単ニ御説明申上ゲマス、其ノ第一ハ、鐵道省所管ニ於テ、名古屋鐵道局ニ於テ請負ニ付シ施行致シマシタ淺川與瀨間ノ鐵道工事請負價格ノ不當、高價ニ失スルト云フモノデアリマス、之ニ對スル政府當局ノ辯明ハ承服出來兼ヌルモノデアリマス、第二ハ、同ジク鐵道省所管ニ於テ、東京、大阪及ビ門司鐵道局ニ於テ、材料ヲ支給シテ製作請負ニ記ノ鐵道局ニ於テハ製作ノ中止ヲ命ぜザル作ノ中途ニ於キマシテ、工務局長通牒ヲ以テ回收回物件ニ指定セラレタニモ拘ラズ、上記ノ鐵道局ニ於テハ製作ノ中止ヲ命ゼザルノミナラズ、新タニ製作ヲ命ジタモノモアツタ有様デアリマス、是ハ物件ノ製作ヲ請負ニ付スルニ當リ措置宜シキヲ得ザルモノデアリマス、政府當局ノ辯明ガアリマシタガ、是モ承服出來兼ヌルモノデアリマス、第三ハ、臨時陸軍材料資金歲出ニ於テ、北支派遣部隊ニ於テ華北纖維組合カラ昭和十七年二月總額九百十五萬餘圓ヲ以テ購入セル綿布等ノ交換用物品ヲ、即日總額千四百六萬餘圓ヲ以テ同組合ニ拂下ゲ、之ガ代金ノ

金額ヲ資金前渡官吏ノ前渡資金ニ回収シマ
シテ、之ニ相當スル既往ノ支拂額ヲ減殺シ
タモノデアリマス、是等ハ交換用物品ノ處
分ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得ザルモノニア
リマス、政府當局ノ辯明ガアリマシタガ、
十分承服出來兼ヌルモノデアリマス、其ノ
他政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト
認メタモノガ百十件アリマス、其ノ中九十
餘件ハ所得稅、法人稅其ノ他租稅ノ徵收不
足若シクハ徵收過ニ屬スルモノデアリマス、
其ノ他ニ付キマシテハ、全部異議ナシト決
定致シマシタ、尙附加ヘテ申上ゲテ置キマス
ガ、今回ノ決算年度ハ、時局愈々急迫シテ參ッ
タ際デアリマスカラ、物品ノ購入其ノ他ニ
關シマシテ、時ノ急ニ應ズル爲、眞ニ已ム
ヲ得ザル措置ト見ラル、モノニ對シマシテ
ハ、審査ノ際斟酌ガ加ヘテアリマス、以上
ヲ以テ報告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、四件共、
決算委員長ノ報告通り御異議ハゴザイマ
セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十一ヨリ
日程第一十一迄ノ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參
照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

筑肥線桃川、大村線彼杵ノ兩驛間鐵道
敷設ノ件

佐賀縣唐津市長岸川善太郎外十七名
呈出

右ノ請願ハ筑肥線・桃川驛ヨリ佐賀縣武雄、嬉野ノ兩町ヲ經テ大村線・彼杵驛ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル採炭、製茶、製陶等ノ各種產業上貢獻スル所大ナルノミナラス門司、長崎間ノ捷徑トナリ且唐津、釜山間ノ海底鐵道開通ノ曉ニハ南支那ヨリ長崎ヲ經テ朝鮮ニ通スル重要幹線トシテ運輸交通竝國防上寄與スル所少カラサルニ依リ速ニ之力實現ヲ圖ラレタシトノ旨越ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

右ノ請願ハ能登鐵道ハ曩ニ地方開發ノ爲
沿線地方ノ小株主數千名ノ投資ニヨリ羽
咋、輪島間ノ鐵道建設ヲ企畫シタルモ羽
咋、三明間ヲ敷設開通シタルニ過キシシ
テ財界ノ不況ニ際會シ遂ニ三明以北ハ葉
工ニ至ラス免許失效トナリ之カ爲沿線住
民ノ打擊甚シキニ依リ速ニ同鐵道ヲ買收
スルト共ニ豫定線三明、能登三井鐵道
ヲ速成シ以テ地方產業ノ振興ト福利ノ增
進ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致
候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送
付候也

昭和十八年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

静岡縣榛原郡下川根村ニ登記所設置ノ件

静岡縣榛原郡下川根村長代理助役録

木庄一郎外三十名呈出

右ノ請願ハ静岡縣榛原郡下川根村、志太

郡伊久身村大字身成、笛間渡及笛間村大

字笛間下ハ各其ノ管轄登記所トノ距離遠

ク住民ノ不利不便甚大ナルノミナラス相

互緊密ナル經濟關係ヲ有シ從テ既屬三登

記所ニ關聯セル登記事件夥多ナルニ依リ

之等隣接地域ヲ管轄區域トスル登記所ヲ

下川根村坤内ニ設置セラレタシトノ旨趣

ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ

モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ

依リ別冊及送付候也

昭和十八年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

全國衛生綿元賣株式會社ニ福岡縣業者

加入ニ關スル件

福岡市上小山町二十七番地福岡縣衛

生綿卸商業組合理事長原田兵五郎呈

出

右ノ請願ハ福岡縣ニ於ケル衛生綿業ハ全

九州ノ需要ヲ充タシ得ル生产能力ヲ有ス

ルニ拘ラス之カ業者ノ全國衛生綿元賣株

式會社ノ構成員ヨリ除外セラレオルハ過

去ノ實績竝生產能力ニ鑑ミ甚遺憾ナルノ

ミナラス原綿ノ輸送、製品ノ配給上亦安

當ナラサルモノアルニ依リ福岡縣業者ヲ

モ同會社ニ加入セシムルヤウ圖ラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十八年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

瀬棚線瀬棚、岩内線岩内ノ兩驛間鐵道

敷設ノ件

北海道瀬棚郡瀬棚町長宮下和平外九

名呈出

右ノ請願ハ瀬棚線瀬棚驛ヨリ壽都ヲ經テ

岩内線岩内驛ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿

線地方ニ於ケル農、林、

鐵產ノ資源開發上裨益スル所大ナルノミ

ナラス運輸交通並國防上亦須要ナルニ依

リ速ニ之カ實現ヲ圖リ以テ地方產業ノ伸

展ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院

ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致

候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送

付候也

昭和十八年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

奥羽本線湯澤、矢島線羽後矢島ノ兩驛

外二十七名呈出

秋田縣雄勝郡湯澤町長伊藤仁右二門

勝郡西馬音内町ヲ經テ矢島線羽後矢島驛

ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケ

ル農富ナル林、鐵產等ノ資源開發上裨益

スル所大ナルノミナラス羽越、奥羽ノ兩

本線鐵道ヲ連絡シ運輸交通並軍事上亦須

要ナルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十八年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

新潟縣東頸城郡松代村長市川新十郎

外十四名呈出

右ノ請願ハ信越本線直江津驛ヨリ高田市、

中魚沼郡十日町ニ至ル鐵道ヲ敷設ス

ヲ經テ上越線六日町ニ至ル鐵道ヲ敷設ス

ルハ沿線地方ニ於ケル農、林、鐵產資源

ノ開發ニ止マラス北陸地方ト帝都ヲ結フ

捷徑トシテ運輸交通上貢獻スル所亦多大

ナルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十八年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

新潟縣東頸城郡新十郎

意見書案

信越本線直江津、上越線六日町ノ兩驛

間鐵道敷設ノ件

新潟縣東頸城郡松代村長市川新十郎

外十四名呈出

右ノ請願ハ信越本線直江津驛ヨリ高田市、

中魚沼郡十日町ニ至ル鐵道ヲ敷設ス

ヲ經テ上越線六日町ニ至ル鐵道ヲ敷設ス

ルハ沿線地方ニ於ケル農、林、鐵產資源

ノ開發ニ止マラス北陸地方ト帝都ヲ結フ

捷徑トシテ運輸交通上貢獻スル所亦多大

ナルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十八年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

新潟縣東頸城郡新十郎

外十四名呈出

右ノ請願ハ信越本線直江津驛ヨリ高田市、

中魚沼郡十日町ニ至ル鐵道ヲ敷設ス

ヲ經テ上越線六日町ニ至ル鐵道ヲ敷設ス

ルハ沿線地方ニ於ケル農、林、鐵產資源

ノ開發ニ止マラス北陸地方ト帝都ヲ結フ

捷徑トシテ運輸交通上貢獻スル所亦多大

ナルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十八年 月 日

○議長(伯爵松平頼壽君) 是等ノ請願ハ、
請願委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異
議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、次會ノ議事日程ハ、決定次第彙報
ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散
會致シマス

午前十時五十四分散會

貴族院議事速記録第三號正誤

四一四四段行誤
マスノデ 正
マセヌノデ